

広報かねやま

KANEYAMA



● COVER

大きくなりますように！
認定こども園めぐたま田植え

June

6

2019

No.678



今年度新たに区長になられた方は、町内
全31地区で13名。地区運営の中心とし
て、大きな役割を担っていただきます。

令和元年度
区長
を紹介します

敬称略

もくじ Contents

- P3 ◆かねやまわんどぴ
各地区の区長を紹介します
- P4 ◆金山町職員採用試験のお知らせ
- P6 ◆町政NEWS
- P8 ◆地域防災の要が集結 春季消防演習
- P10 ◆まちのわだい
永山茂樹さんが新曲を発表
県縦断駅伝に金山から3選手が出場
かねやま電雪が公開学習会を開催
「黎明」をテーマに金山中体育祭
- P12 ◆ほっとクリニック vol.124
いつまでも住み慣れた金山で Part.7 ほか
- P14 ◆金山町地域福祉計画を策定しました
- P16 ◆お知らせ掲示板
農用地等の借受希望者の募集がスタート
75歳以上の医療保険料均等割合が一部変更
- P18 ◆図書室だより・ぶんげい
道草便り vol.14・東京金山会通信 No.2

= 今月の表紙 =



毎年恒例となっている認定こども園めぐたま年長児による田植えが5月23日、園の田んぼで行われました。
園児らは先生の合図で田んぼに飛び込み、お父さん・お母さ

んと泥だらけになりながら、一緒にもち米を植え付けました。秋には大きく実った稲穂を自ら手で刈り取る予定。収穫感謝祭で元気いっぱい餅つきをふるまわれます。

6月行事予定表

【町立金山診療所 診療予定】
㊤▶ 疼痛外来 ㊤▶ 小児科外来 ㊤▶ タ診

1 (土)	無料人権なんでも相談	
2 (日)	全町一斉クリーン作戦の日	
3 (月)	6月議会定例会 (7日まで) 町づくりフォーラム (外沢地区) 小さな拠点づくり (毎週月曜日)	㊤
4 (火)	乳児健診	
5 (水)	小体連陸上大会 すこやか相談・心配ごと相談	㊤
6 (木)	ベビーマッサージ	㊤
7 (金)	森の演奏会	
8 (土)	無料リサイクル回収	
9 (日)	かねやま青空市	
10 (月)		㊤
11 (火)	女性ドック健診	
12 (水)	すくすくプレイランド	㊤
13 (木)	ママと赤ちゃんのケア教室	㊤
14 (金)	趣味の講座 森の演奏会	
15 (土)		
16 (日)	第61回東京金山会総会	
17 (月)	心配ごと相談	㊤
18 (火)	1歳2歳児歯科健診 わらべうた・読み聞かせ	
19 (水)	すこやか相談 肺がん検診地区まわり	㊤
20 (木)	ホットさろん 寿大学レクリエーション大会	㊤
21 (金)	森の演奏会	
22 (土)		
23 (日)	金山町長杯グラウンドゴルフ大会	
24 (月)	心の健康相談 肺がん検診地区まわり (26日まで)	㊤
25 (火)	心配ごと相談	
26 (水)	健康づくり講演会	㊤
27 (木)	男性ドック健診・総合健診 リフレッシュヨガ教室	㊤
28 (金)	健康ふれあいスポーツ大会監督会議 森の演奏会	
29 (土)		
30 (日)	消防操法大会 (会場で献血実施)	

町職員 の募集

令和元年度金山町職員採用試験のお知らせ

●受付期間 6月7日(金)～8月14日(水) ※郵送の場合は必着
【持参される方は平日8:30～17:15に提出ください】

●募集要項及び受験申込書の請求・提出・お問い合わせ
金山町役場総務課 総務係
〒999-5402 山形県最上郡金山町大字金山324-1
☎0233-52-2111(内線221) / FAX0233-52-2004
募集要項及び受験申込書は、金山町ホームページから
ダウンロードできます(QRコードよりアクセス可)。



●試験職種・採用予定人員など(令和2年4月1日採用予定)

試験職種	採用予定人員	職務内容	受験資格
一般事務員 (行政職)	若干名	各種施策の企画、条例制定、予算編成などの事務全般	昭和59年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方(高卒見込みから35歳までの方)。歯科衛生士などの各種資格をお持ちの方も歓迎します。
土木技術員 (行政職)	若干名	道路、水路や街並み環境整備の企画や工事発注事務等	昭和59年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方(高卒見込みから35歳までの方)
建築技術員 (行政職)	若干名	公共建築物の設計・工事監理・維持保全の業務等	昭和59年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方(高卒見込みから35歳までの方)
保健師 (行政職)	若干名	健康相談、健康教育、母子保健などの各種事業等	昭和59年4月2日以降に生まれた方(35歳までの方)で令和2年4月までに保健師資格を有する(見込み含む)方
看護師 (医療職)	若干名	町立診療所での看護業務等	昭和54年4月2日以降に生まれた方(40歳までの方)で令和2年4月までに看護師資格を有する(見込み含む)方

●受験申し込み時の提出書類

- ①受験申込書、履歴書(写真貼付)及び身上書
 - ②最終学歴の卒業証明書(又は卒業見込証明書)
 - ③最終学歴の成績証明書(開封せずに提出のこと)
 - ④受験票用写真1枚(縦4cm×横3cm、裏面に氏名を記載のこと)
 - ⑤封筒(受験票の送付先を記載し82円切手を貼付のこと)
- ※写真は①(履歴書に貼付して提出)と④(そのまま提出)の計2枚必要です

●共通受験資格

- 日本国籍を有する方
- 次の方(地方公務員法第16条に該当する方)は受験できません

成年被後見人や被保佐人/禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの方/金山町職員として懲戒免職の処分を受けてから2年を経過しない方/人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、地方公務員法に規定する罪を犯し刑に処せられた方/日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した方

●試験日程など

試験	試験日	職種	試験日程	試験会場
第1次	9月21日(土)	全職種共通	人物試験 9:10～12:00 (昼食) 12:00～12:50 性格検査 12:50～13:10 作文試験 13:30～15:00	金山町役場
第2次	9月22日(日)	一般事務員 保健師	教養試験 10:00～12:00 事務適性検査 12:20～12:30	
		土木技術員 建築技術員	教養試験 10:00～12:00 事務適性検査 12:20～12:30 (昼食) 12:30～13:30 土木専門試験 13:30～15:00 建築専門試験	
		看護師	教養試験 10:00～12:00 (昼食) 12:00～13:30 看護師適性検査 13:30～14:20	

●先輩職員の声



平成26年度入庁
岸健太

私が金山町役場の土木技術員となり5年が経ちます。土木技術員とは、主に工事の設計や監督業務を行う職種であり、安全で快適な生活環境を整備するためには、様々な専門知識が必要です。私はまだまだ経験不足ですが、1つ1つの工事に成長・挑戦の機会があり、その成果が道路など目に見える形で表れるため、達成感や自信が得られます。



平成24年度入庁
小野久美子

以前、管理栄養士として病院に勤務していた経験から、日頃の食生活の大切さを実感し、多くの方に正しい食生活を伝えたいと思い、入庁を決めました。現在は、離乳食の進め方から生活習慣病予防のための食事など、幅広い年代の方へ正しい食生活について普及しています。町民の皆さんの健康づくりに関われることにやりがいを感じています。



平成28年度入庁
丹恵

入庁した1番のきっかけは、進学のため町を離れ外から見たときに、生まれ育った金山が素敵な町だと感じたから。故郷に貢献できる仕事がしたい!と思い、採用試験を受験しました。観光の担当となり、今年で4年目。離れてみて感じた町の魅力を、イベントなどで発信しています。多くの方から「金山ファン」になってもらうことが、今の私の喜びです。



平成29年度入庁
高橋玄

町出身ではない私が、金山町の採用試験を受験したのは、他にはない景観施策などに興味を持ったためです。現在は金山に移り住み、きれいな街並みに囲まれて暮らしています。担当業務は、主に税の賦課・徴収。町民の皆さんから納めていただいている大切な財源であり、責任は重大ですが、同時にそれを取り扱えるという誇りをもって仕事をしています。



会場には発芽ピーナッツや苗のほか、落花生に関する書物などが展示された

目指せ！落花生の一大産地 でん六・かねやま美ーナッツ教室を開催

5月10日、農村環境改善センターを会場に「でん六・かねやま美ーナッツ教室」を開催し、金山小4年生のほか、町内外からの一般参加や落花生生産者ら約60名が参加しました。町が将来的に産地化を目指す落花生。本教室は、さらなる普及や生産拡大

への足掛かりとなるよう、(株)でん六企画開発部の倉田大輔さんから健康増進効果などについて講演いただきました。栽培方法への質問が多く寄せられるなど、参加者の関心は高め。お土産として、昨年町で採れたタネが全員に配布されました。

町から賀詞・お祝い金を贈呈 祝！橋間吉藏さんが100歳

橋間吉藏さん(長野)

が、5月5日に100歳の誕生日を迎えられ、鈴木町長からご本人へ賀詞やお祝い金が贈呈されました。吉藏さんは大正8年生まれ。ご自身にとって4時代目となる令和を元気に迎えることができ、「嬉しく思う」と笑

みがこぼれていました。

この日、贈呈が行われたご自宅には、お子さんやご親戚が駆け付け、皆さんで写真を撮るなどして、大きな節目をお祝いしました。これからも健康に留意され、長生きしてください。100歳のご長寿、おめでとうございます。



町から贈呈された賀詞を持ち、凛々しく写真に収める吉藏さん

七 日町通りが1日限定の歩行者天国に GWも「かねやま街市」で大賑わい

5月3日、2回目となる「かねやま街市」を町中心部で開催しました。

歩行者天国となった七日町通りには、新鮮な野菜やコーヒーマンなどの販売のほか、SUGI☆スターズによるバルーンアート、山形大学チーム道草のボードゲーム体

験、町内協力店舗のおすすめ品の販売など、約30ブースが出展しました。

さらにスイカ割りなどのアトラクションや花笠踊り・歌の披露など多彩なステージイベントもあり、家族連れや観光客で大いに賑わいました。



④七日町通りは大賑わい(右)／暑い日はスイカが最高！(左上)／道路のキヤンパスに消せるチョークでお絵描き ⑤通り中心部にステージを仮設

春 のかねやま展を山形市で開催 わらびやふきなど山の幸に行列も

第8回春のかねやま展が5月20・22日の3日間、庄内銀行桜田支店(山形市)を会場に開催し、多くの来場客で賑わいました。支店ロビーには町フォトコンテスト入賞作品やチェンソーアート作品などを展示し、町の魅力を発信しました。

駐車場では例年大好評の物産展を開催し、採れたての山菜や加工品などが人気を博しました。わらびやふきなど、中には両手いっぱい山菜を購入している人も。「かねやま展は美味しいものばかり。来年もまた来たい」と笑顔で話していました。



開催初日の20日には春を感じる山菜を求めて、多くの来場者が押し寄せた

見 守り隊が児童らと顔合わせ 子どもたちの安全な登下校のために



⑤バス通学の有屋小はおじいちゃん・おばあちゃんを中心となって最寄りのバス停までお見送り ⑥明安小は登校班ごとに個別に顔合わせ ⑦金山小の顔合わせ会では見守り隊の皆さんを手作りのアーチで歓迎

春に新入生を迎えた各小学校で、見守り隊活動が活発なっています。金山小学校では、4月16日に見守り隊の皆さんとの顔合わせ会を開催。児童を代表して柴田結月さん(2年)が「毎朝曲がり角であいさつしている。いつも見守ってくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えていました。4月24日には、明安小学校で顔合わせ会が開かれ、8名の見守り隊が紹介されました。

有屋小学校では、今年度見守り隊のベストを更新。着用のうえ、児童らをバス停まで見送りしています。毎朝、お孫さん2人を見送りしているという矢口晶子さん(柳原)は「これからも事故に気をつけて見守っていく」と話していました。

ス ポーツ少年団結団式 円陣組んで「今年も頑張るぞー」

4月24日、町スポーツ少年団結団式が開かれ、町内8つのスポーツ少年団の団員たちが決意表明を行いました。

明安スキースポーツ少年団の悠太さんと佐藤妃菜さんが「スポーツによって、限りなく伸びる自分の力を作り出すために努力し

ます」などと誓いの言葉を述べました。

指導者らは「子ども達の仲間意識や団結力の向上のためにも活動していきたい」と地域に根付くスポーツ少年団の良さを話していました。各団とも、随時団員を募集しています。

春季消防演習

4月29日、平成最後となる「春季消防演習」が行われました。

柴田純一 新団長のもと、各種訓練が披露されたほか、功績をたたえて多くの団員が表彰を受けました。



消防庁長官表彰

(永年勤続功労章)

第6分団第1部団員 大場 好則

(退職消防団員)

元副団長 星川 正年

元分団長 高橋 正美

元分団長 栗田 勝

元分団長 栗田 好勝

元分団長 西田 友見

元分団長 丹 欣弥

元分団長 丹 勇一

元副分団長 上野 明

元副分団長 樋渡 幹也

元副分団長 丹 康之

元班長 松田 武

元班長 栗田 孝行

元班長 柴田 淳

元団員 丹 郁

山形県知事表彰

(金条章) 第7分団第2部 無災期間40年

(特別功労章) 本部分団長 矢口 武博

第1分団分団長 柿崎 尚弥

第6分団分団長 栗田 幸一

(功労章) 第5分団分団長 三浦 昌人

功績章

第9分団分団長 堀 隆行

第6分団第1部部長 栗田 喜一

第4分団第2部団員 長倉 勉

第7分団分団長 柴田 彰

第2分団副分団長 笹原 幸治

第7分団副分団長 矢口 慎一

本部分団長 柴田 直樹

第8分団第1部部長 須藤 豪著

(精練章) 第4分団分団長 樋渡 友和

第2分団第1部部長 五十嵐泰博

第3分団第1部部長 柳田 隆広

第5分団第1部部長 伊藤 智之

第5分団第2部部長 佐藤 孝史

(永年勤続退団者) 元副団長 星川 正年

元分団長 高橋 正美

元分団長 栗田 勝

元分団長 西田 友見

元分団長 丹 欣弥

元副分団長 丹 勇一

元班長 樋渡 幹也

元班長 松田 武

元班長 栗田 孝行

日本消防協会長表彰

(精練章) 本部分団長 三浦 敏博

元班長 柴田 淳

元団員 丹 郁

(優良章) 第5分団第3部部長 近岡 秀一

第5分団第1部班長 伊藤 秀幸

第6分団第1部班長 栗田 智之

第4分団第1部団員 柿崎 洋一

第4分団第2部団員 中村 善一

第9分団第1部団員 須藤 正宏

第9分団第1部団員 丹 里志

(永年勤続章) 30年勤続 西田 新一

第2分団第1部団員 大場 好則

第6分団第1部団員 矢口 武博

25年勤続 本部分団長 矢口 武博

第6分団第1部班長 栗田 将

第3分団第1部団員 高橋 達之

第6分団第1部団員 佐藤 英樹

20年勤続 堀 隆行

第9分団分団長 三浦 宏治

第6分団副分団長 堀 隆行

第9分団分団長 三浦 宏治

第6分団副分団長 堀 隆行

第9分団分団長 三浦 宏治

第1分団第2部部長 堀 亮

第7分団第1部部長 柴田 武志

第1分団第2部班長 今田 裕功

第2分団第2部班長 三上 智之

第5分団第2部班長 佐藤 徳明

第8分団第1部班長 須藤 富士

第9分団第1部班長 阿部 昭人

第3分団第1部団員 須賀 浩司

第4分団第1部団員 関 純一

第9分団第1部団員 大場 知

15年勤続 矢口 寛

第7分団第2部部長 後藤 学

第8分団第2部部長 小沼 晃

第7分団第2部班長 細谷 隼人

第9分団第1部班長 高橋 直人

本部団員 沼澤 尚史

第2分団第1部団員 土屋 崇

第2分団第1部団員 山谷 大樹

第2分団第1部団員 幅野 貴紀

第3分団第2部団員 正野 和人

第4分団第1部団員 阿部 正幸

第5分団第3部団員 藤屋 重広

第7分団第2部団員 菅原 智明

第8分団第2部団員 星川 正輝

山形県消防協会最上支部長表彰

(銀条章) 第4分団第1部 梅津 秀敏

(優功章) 第2分団分団長 渡部 昭仁

第4分団第1部団員 阿部 徳之

第5分団第1部団員 鈴木 清明

(精勵章) 第1分団第2部部長 堀 亮

第7分団第1部部長 柴田 武志

第4分団第2部団員 中村 善一

第9分団第1部団員 須藤 正宏

第9分団第1部団員 丹 里志

(無火災地区表彰) 無災期間40年 宮地区

(内助の功労者) 矢口 則子

金山町長感謝状贈呈 後藤 学

第8分団分団長 矢口 寛

第7分団副分団長 小沼 晃

第7分団第2部班長 細谷 隼人

第8分団第2部班長 星川 正輝

第9分団第1部班長 高橋 直人

本部団員 沼澤 尚史

第2分団第1部団員 土屋 崇

第2分団第1部団員 山谷 大樹

第2分団第1部団員 幅野 貴紀

第3分団第2部団員 正野 和人

第4分団第1部団員 阿部 正幸

第5分団第3部団員 藤屋 重広

第7分団第2部団員 菅原 智明

(優良消防団員) 第2分団第1部団員 白畑 洋平

第2分団第1部団員 星川 秀明

第3分団第1部団員 大場 拓弥

第4分団第1部団員 長倉 友美

第4分団第2部団員 樋渡 京

第5分団第2部団員 高橋進太郎

第5分団第3部団員 加藤 優志

第7分団第1部団員 井上 秋彦

第7分団第2部団員 丹 一道

第8分団第1部団員 佐藤 明義

第8分団第2部団員 天口 鷹晃

第9分団第1部団員 須藤 俊也

第9分団第1部団員 三上 恭平

第9分団第1部団員 岸 徹

(ポンプ管理優良章)

第4分団第2部第2班 矢口 則子

第6分団第2部 宮地区

第2分団第2部 後藤 学

第7分団第2部 小沼 晃

第8分団第2部 細谷 隼人

第9分団第2部 星川 正輝

第9分団第1部 高橋 直人

第9分団第1部 沼澤 尚史

第9分団第1部 土屋 崇

第9分団第1部 山谷 大樹

優良自衛消防隊長

優良自衛消防隊長 矢口 栄美子

優良婦人防火協力班員

優良婦人防火協力班員 今井 禎子

優良自衛消防隊員

優良自衛消防隊員 柴田 育子

優良婦人防火協力班員

優良婦人防火協力班員 今井 禎子

雪の有効活用について考える

NPO法人かねやま電雪が公開学習会

現在町内で雪むろ活用に挑戦中のNPO法人かねやま電雪が利雪について考えようと5月18日、公開学習会「利雪の経験と苦勞」を中央公民館で開催しました。講師の横山孝男山形大学名誉教授は、県内外の利雪の事例や課題などを解説。かねやま電雪の小沼正和代表は「昨年雪むろが完成し、活用が始まっている。太陽光発電とともにエコなエネルギーを発信していきたい」と話していました。



▲出席した約20名が雪の有効活用について考えた

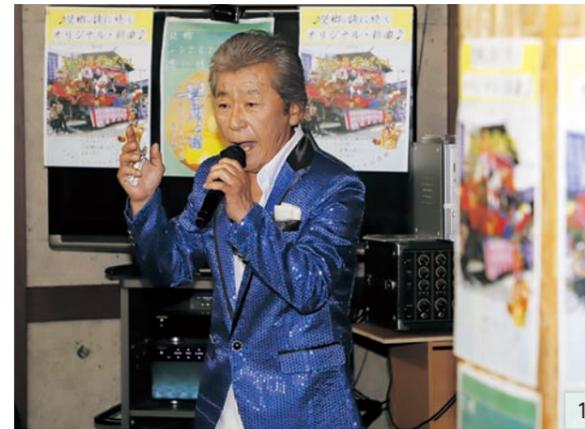
▼12区として新庄市役所前をスタートする星川選手（最左）



伝統の山形県縦断駅伝

町出身の3選手が出場！

4月27日～29日の3日間、第64回山形県縦断駅伝競走大会が開催され、新庄・最上チームの選手として、町出身の3選手が出場しました。1区・12区は星川優河さん（安沢）、19区・29区は須賀暁さん（山崎）、6区は今井達弥さん（七日町）がそれぞれ力走。チームは総合11位と悔しさの残る結果でしたが、各選手の快走に沿道の駅伝ファンから大きな声援が送られていました。



1_新曲のほか持ち歌を披露した永山さん 2_町内3か所でCDを配布中 3_約30名のお客さんからは大きな拍手が送られた

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

永山茂樹さんが新曲を発表

「ふるさと金山炎華ばやし」

永山茂樹さん（稲沢）が新曲「ふるさと金山炎華ばやし」を自主制作し、5月10日に発表会を開催しました。「この曲を聞いて、都会で暮らす人に故郷を思い出してほしい」と永山さんは話し、関係者へ感謝の気持ちを述べていました。多くの方を知ってもらいたいと、収録したCDは中央公民館・金山郵便局・ホットハウスカムロにおいて無料配布。「歌は一生！」をモットーに、たくさんのイベントで歌い続けていくとのことです。

一人ひとりが輝ける金山中体育祭

「黎明」をテーマに新時代も躍動

好天に恵まれた5月18日、金山中学校体育祭が開催されました。令和最初となる体育祭のテーマは黎明。実行委員長の古澤佑季さん（3年）は「新しい時代の幕開けとともに、この体育祭がよりよい金山中へ変わるきっかけとなるよう願いを込めた」とテーマに込めた意味をかみしめるようにあいさつされました。

競技されたのは100m競争や伝統のフォークダンス、大きな盛り上がりを見せるむかでリレーなど15種目。生徒たちはその全てにおいて、相手そして自分自身に本気で挑み、そのひたむきな姿に会場は感動に包まれていました。

接戦の末、優勝を勝ち取ったのは紅組。「勝負だから勝ち負けはついたが、これを機にさらに団結力が上がったのではないと思う。今後のよりよい学校生活に生かしていこう」生徒会長の須藤耀斗さん（3年）は閉祭式でこう話し、全員の頑張りたたえていました。鈴木英樹校長は「応援合戦で相手の組にエールを送る姿やむかでリレーで最後のチームがゴールするまでみんなで声援を送る姿に感動した」と嬉しそうに講評を述べました。体育祭を通してひとり回り成長した金山中生。ますますの活躍を期待します。





— Forever in My Town! —

いつまでも 住み慣れた金山で

Part.7

— Enjoy My Life! —

高齢者や認知症の方にやさしい地域づくり

高齢化の進展に伴い、2025年には全国で約700万人（約5人に1人）が認知症となると言われています。「認知症とともに、よりよく生きていく。住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続ける」ことができる社会が求められます。

町では小学生や各地区、団体を対象に「認知症サポーター養成講座」を行い、認知症に対する正しい知識や適切な対応方法を普及しています。

講座を受けたサポーターには「高齢者あんしん応援隊」になっていただき、地域の中で高齢者や認知症の方へのちょっとした声がけ、変化への気づき、相談にのったり手助けをしたりと、無理なくできる範囲での支援をお願いしています。

これからは、認知症の方の意志が尊重される支援も重視されていきます。認知症になっても「その人らしさ」や「できること」がたくさんあり、地域で活躍している方もいます。



昨年度は板橋地区でも養成講座が開かれました。

講座を受けた小学生の声！

Q. 自分が高齢者になったらどう接してほしい？

- ①みんなと一緒に笑ってほしい。無視しないで声をかけてほしい。
- ②周囲の迷惑にならないように生活したい。施設に入るよりずっと家族と生活したい。
- ③悪気があって病気になったのではないから理解してほしい。

Q. 高齢者の方に自分たちができることは？

- ①認知症の人も同じ人間。困っていたら声をかけ、すすんで手助けしたい。
- ②優しく、親切に接したい。「ありがとう」と言えるような関わりをしていきたい。
- ③自分がしてほしいことを同じようにしていきたい。自分や家族だったら、とその人の気持ちを考えて。

ホットさろんに行こう！

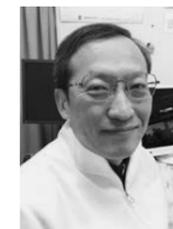
いつ？	何をやるの？
6月20日(木)	転倒予防体操
7月18日(木)	らくらく自宅介護
8月8日(木)	知って得する健康長寿食！
9月12日(木)	福祉用具でいきいき生活
10月17日(木)	物忘れお悩み相談会
11月21日(木)	お坊さんのお話
12月19日(木)	クリスマスコンサート♪
1月16日(木)	成年後見制度ってなに？
2月20日(木)	ものづくり体験！
3月12日(木)	簡単・楽々筋力アップ体操

ホットさろんは、高齢者や介護者が気軽に立ち寄り、楽しく笑ってお話をしたり、介護の相談・介護教室への参加を通して、リフレッシュ・ホッとできる場です。高齢者の知恵や経験を活かせる場としても、ぜひご利用ください。おいしいお茶やコーヒーを用意してお待ちしています！

- 時間 10時～11時30分
- 会場 町立金山診療所（4階談話室）
- 問い合わせ 金山町地域包括支援センター ☎52-3035

町立金山診療所だより

ほっとクリニック vol.124



よりよい薬とのつきあいかたのために

所長兼内科医長 石川成範 しげのり

「薬多いでね。整理しませんか？」長い間これでやってきたので…。不安げで、戸惑う様子がわかる。外来での一コマである。当然の不安と思いき、丁寧な説明を心がけるも、時間の制約がある。今回の投稿が、薬とのつきあい方について考えていただくきっかけになればと願う。

多剤服用によっておこされる「老年症候群」として、ふらつき、認知機能低下、抑鬱、食欲低下、便秘、排尿障害などが指摘されているが、多くは「年のせい」だと、見過ごされている。花粉症にも使用される抗ヒスタミン薬・抗うつ薬・抗めまい薬・過活動膀胱薬などの抗コリン系薬剤は、常用量でも3年以上の使用により、認知症全体の発症リスクが1・54倍に増加していたとの報告がある。また、ベンゾジアゼピン系の睡眠薬や抗不安

薬による認知機能低下も問題視されている。アルファ遮断薬などの降圧剤、消炎鎮痛薬、プロトンポンプ阻害剤などの胃薬なども有害事象が出現しやすいとされている。こういったことは、いまだ医療現場には周知されず、患者自身にも薬剤への依存があり、課題は山積している。医師の責任が重要であることは議論の余地はないが、処方される側の患者サイドの意識改革も重要だ。自己判断による断薬や減薬の危険性に留意し、積極的に治療方針の決定に参加し、決定に従って治療を受けることを意味する患者主体の「服薬アドヒアランス」の改善や、「生活の質」を意味するQOLを向上させる視点が重要である。使っている薬は必ず伝える、むやみに薬を欲しがらない、若い頃と同じだと思わない、薬は優先順位を考える。最後に、効率的で有効な病診連携のもと、診療所等によるかかりつけ医の促進が、薬剤の適正使用の推進に有効な対策の一つとなることを記して終わります。

今更聞けないまちのこと！

LEVEL.1

町章ってなに？

町のシンボルとして制定されている町章。町民の皆さんであれば、一度は見ただけのものではないかと思えます。今回はこの町章について、すこしひも解いていきます。

いつからあるの？

昭和47年6月10日に制定されました。

誰がデザインしたの？

公募により伊藤公一さん（愛知県在住）の作品が採用されました。なお、全国各地から263点（町内からは31点）の応募がありました。

どんな意味が込められているの？

金山町のなりたちである「カ」の字を附近一帯に重畳する美しい山々をイメージにデザインしたもので、まろやかな山頂は平和な人間性・豊かな町民感情を表わし、重なりあった山は団結を、下辺のきりたちは英知と決断全体で進歩と調和を意味します。

町の審査はありますが、町民の皆さんも資料や出版物に利用できます！



1 創郷力を育む町づくり

地域福祉への住民理解

- (1) 町民の福祉意識の醸成
- (2) 生涯を通じた福祉教育の推進
- (3) あいさつ運動の推奨

地域福祉の担い手の育成

- (1) 活動主体の発掘・育成
- (2) 各種団体の連携体制の強化

地域活動の推進

- (1) ボランティア活動の促進
- (2) 社会福祉協議会活動の推進
- (3) 町民が共に支え合う仕組みづくり



新庄南高金山校スキー部によるごみ拾いボランティアの様子。その他にも、町内の学校や団体がたくさんボランティアを行っています。

3 安全・安心して生活できる町づくり

安心して暮らせる生活環境の整備

- (1) 見守り活動の推進
- (2) 医療体制の充実
- (3) 福祉のまちづくり推進
- (4) 相談窓口の充実
- (5) 生活課題を有する地域住民への相談支援体制

安心・安全な地域づくり

- (1) 災害時・緊急時に機能できる仕組みづくり
- (2) 災害時ボランティア活動の強化

地域への愛着を育む

- (1) 利用しやすい公共交通の整備
- (2) 日常生活の利便性の確保

居住環境の充実

雪対策の推進

きめ細やかな除雪作業により、安心で安全な冬期間の交通を確保します。



2 優しさあふれる健康と福祉の町づくり

権利擁護事業等の推進

- (1) 成年後見制度
- (2) 自立支援事業の推進
- (3) 虐待防止の推進と虐待への対応
- (4) 地域における権利擁護の推進

福祉サービス・支援の強化

- (1) 「健康長寿88運動」の推進
- (2) 子育てへの支援
- (3) 高齢者への支援
- (4) 障がい者（児）への支援
- (5) 分野横断的な福祉サービス等の提供

住民の交流の場の充実

- (1) 地域交流の拠点づくり
- (2) 世代間交流の促進
- (3) 地域住民等が集う拠点の整備や既存施設の活用

4 地域共生社会の実現に向けたまちづくり

金山版CCRC構想の実現

制度の狭間問題への対応

就労に困難を抱える地域住民への横断的な支援

自殺予防のための支援

保健医療・福祉等の支援を必要とする住民への社会復帰支援



金山版CCRC構想のイメージ図。様々な問題を克服しながら、地域共生社会の実現に向けたまちづくりを進めていきます。

5 年計画



計画策定の背景

日本全体を取り巻く人口減少・少子高齢化は、金山町においても共通課題の一つ。また、家族構成の多様化などにより地域コミュニティの在り方も大きく変化しています。このような状況を踏まえた地域づくりのため、国は高齢期におけるケアを念頭に地域包括ケアシステムの構築を進めています。

象外の生活課題への対応や、複合的な課題を抱える人・世帯への対応に限界が生じているのも事実。さらに、少子高齢化にともない金山町を含む中山間地域などで、地域の実情に応じた福祉の体制整備や人材確保が難しくなっています。

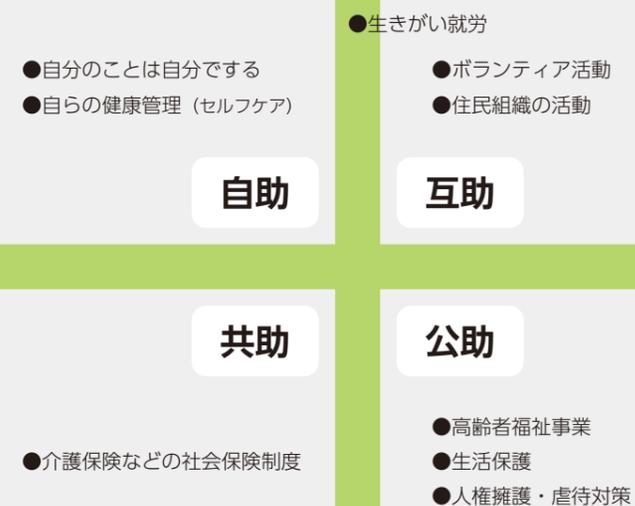
新たな地域共生社会の実現に向けて

地域での自立した生活を包括的に支援する「地域包括ケアシステム」。この考え方は、他の分野にも応用できます。そのためには、地域や個人が抱える生活課題を町などと協

働いて解決できるように「我が事・丸ごと」の地域づくりを育む支援体制の整備が必要となります。

町では、その考え方を基に「地域共生社会」の実現を目指します。障がい者や子ども、生活困窮者などにあっても、地域住民の誰もが役割を持つことがとても重要です。支え合いながら、自分らしく活躍できるコミュニティを育てるとともに、公的な福祉サービスと協働して助け合って暮らすことのできる地域づくりを推進するため、多くの皆さんの協力を得て本計画を策定しました。

自助・互助・共助・公助の考え方



を策定！



交通災害共済に加入しよう！

1日の通院で2万円の見舞金

交通災害共済は、万が一交通事故に遭われ災害を受けた場合に見舞金を差し上げ、お互いに助け合う制度です。平成30年度は9名の方が計45万円を受給しています。

- ▼費用 年会費400円
 - ▼適用 7月1日から(令和元年度分)
 - ▼支給 治療(1日)：見舞金2万円
死亡：100万円
 - ▼申込 隣組長へ申し込み
 - ▼締切 6月20日(木)
- ※交通事故に遭われた場合は、早急に役場担当までご連絡ください。
- ☎ 役場町民税務課くらし安全係
52-2111 (内線246)

寿大学「レクリエーション大会」

- ▼日時 6月20日(木)
9時30分～11時30分
 - ▼会場 金山町体育センター
 - ▼対象 町内在住で60歳以上の方(老人クラブに所属していない方も大歓迎！)
 - ▼持ち物 うち履き
 - ▼費用 参加無料
 - ▼参加賞 ホットハウスカム口入浴券
 - ▼申込 地区の老人クラブまたは中央公民館まで申し込み
- ☎ 中央公民館(生涯学習・社会教育係)
52-2902

歴史学講座で米沢市へ！

米沢市が発祥の地と言われる「草木塔」について学習します。また、今年は置賜三十三観音開創より初めての御開帳年。めったに見ることのできない観音様を参拝します(草木塔とは、草木に感謝しその成長を願って建立されたといえられる石碑です)

- ▼日時 6月21日(金)
8時～17時30分
 - ▼費用 1,200円(昼食代)
 - ▼見学地 米沢市田沢地区の草木塔、置賜三十三観音(笹野観音・桑山観音・小野川観音)
- ☎ 中央公民館(生涯学習・社会教育係)
52-2902

金山活粋野菜倶楽部なら部会「旗揚げ運動」

金山活粋野菜倶楽部なら部会では農業飛散(ドリフト)を避けるために「旗揚げ運動」を行っています。収穫10日前になったらほ場に黄旗を揚げ、収穫期間中はほ場に赤旗を揚げています。金山産ニラの品質維持のため、ご理解とご協力のほどよろしく願います。

- ☎ 金山農業協同組合 営農部
52-2892
- 自衛官候補生を募集します**
- ▼対象 日本国籍を有する18歳以上33歳未満の男女

危険物取扱者保安講習会

- ▼日時 【一般講習】
8月28日(水) 13時30分～
8月29日(木) 9時～
 - ▼会場 最上総合支庁
 - ▼費用 受講料4,700円
 - ▼申込 6月24日(月)～7月19日(金)
- ☎ 最上地区危険物安全協会事務局
22-17521

山形県調理師試験

- ▼日時 10月12日(土)
13時30分～15時30分
 - ▼会場 山形県庁
 - ▼申込 6月14日(金)～28日(金)
- ☎ 山形県食品安全衛生課
023-63012621

介護支援専門員実務研修受講試験

- ▼日時 10月13日(日) 10時～
- ▼会場 山形市内(受験票交付時に通知)

県が正社員を目指す方を応援！

- ▼資格 保険・医療・福祉の分野で5年以上かつ900日以上実務経験がある方
 - ▼申込 6月10日(月)～28日(金)
- ☎ 山形県社会福祉協議会
023-62212776

目指せ海の事故ゼロへ！

- ▼日時 7月3日(水)
①10時30分～12時
②13時30分～15時
 - ▼場所 新庄市民プラザ
 - ▼対象 50歳未満の求職活動中の非正規労働者及び求職者
 - ▼内容 研修やキャリアカウンセリング、職業紹介、職場定着支援までを県の事業として一体的に支援
- ☎ キャリアバンク株式会社
023-63315608

海上保安庁への緊急通報は118番

- ☎ 酒田海上保安部 交通課
023412410055

75歳以上で医療保険料の均等割9割軽減の方へ

8割軽減に変わります



※医療保険料を年金からの引き落としで納めている場合、引き落とし額への影響は10月からです。
※介護保険料軽減は半年度分の軽減額を年度平均した額です。課税者が同居している場合は対象外となります。

【お問い合わせ】
◎役場健康福祉課 医療介護係 ☎52-2111
〔後期高齢者医療制度について…内線269〕
〔介護保険について……………内線268・372〕
◎年金ダイヤル ☎0570-05-1165

高齢者医療保険料の均等割りについて、これまで9割軽減となっていた方は、今年度8割軽減に変わります。
介護保険料については、今年度、所得の低い高齢者への保険料の負担軽減が強化されます。所得の低い年金受給者の方へは、今年10月から年金生活者支援給付金(基準額月5,000円)の制度が始まります。

- 応募方法 農用地等の借受希望者の募集・受付は役場窓口で行います(申込用紙は役場産業課にあります)。
- 募集期間 令和元年5月7日(火)～令和2年2月28日(金)
- 募集区域 役場産業課でご確認ください。
- 申込みにあたっての留意点
①既に募集に応募しており公表されている方は、申し込み内容が継続されますので、改めて応募する必要はありません。
②応募いただいた場合、一部内容をインターネット等で公表することになりますので、ご承諾いただく必要があります。
- 貸付希望者について 農業廃止や経営転換の要件を満たすと、貸付ける面積に応じて「経営転換協力金」が支払われます。令和元年いっぱいでの農業廃止を検討している方は、7月10日まで産業課・農業委員会へご相談ください。詳しくは個別にご説明します。

令和元年度 農地中間管理事業による農用地等の借受希望者の募集が始まりました

公益財団法人やまがた農業支援センターでは、農地中間管理機構として、農地中間管理事業の推進に関する法律第17条の規定により、農用地等の借受希望者を募集しています。

【ご相談・お問い合わせ】
◎役場産業課 農政・林政・農村整備係
☎52-2111 (内線408)
◎公益財団法人やまがた農業支援センター
☎023-631-0697



東京金山会通信 No.2

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

【第61回東京金山会総会】
▼日時 6月16日(日) 10時30分～14時30分
▼会費 おひとり10,000円
▼会場 ホテルラングウッド (東京都荒川区東日暮里)
▼申込 東京金山会事務局(☎03-3801-2877) または上記の広報担当藤山までご連絡ください。

今年も東京金山会総会が近づいて参りました。4月13日、事務所で総会案内状の発送作業を行い、1203名の会員様へお送りしました。昨年以上の総会にと、役員が1年間様々な案を出し合い、楽しく素晴らしい会になればと頑張ってきました。お誘い合わせのうえ、たくさんのご参加をお待ちしています。当日参加出来ない方はメールなどで近況をお知らせいただけたら幸いです。

手違い等で案内状が届かなかった方も、もちろんお申込みいただけます。金山町のホームページにも詳細を掲載しておりますので、事務局または広報担当の藤山までご連絡ください。当日参加でも大歓迎ですので、直接会場へお越しください。

年に一度、ふるさと金山とゆかりのある皆様とお会いし、金山弁で語り合うことのできるこの機会。ぜひ多くの方にご参加いただき、癒しの1日となれば幸いです。



総会案内状の発送が完了した後は、差し入れの「ごぼうたたき」「近内せんべい」「しそ巻き」でお疲れ様会。我が故郷金山の昔ながらの懐かしい味を楽しみました。

「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『まいごのてがみ』
(石井睦美/作 平岡暁/絵)

にぎやかもりの入口で、ゆうびん屋さんがひとりごと。「こまったな、こまったなあ。」そこに通りかかったあらいぐまの奥さんが「何をそんなにこまっているの?」と聞きました。「このハガキ、雨にぬれて字が消えているんです。」とゆうびん屋さん。リーちゃんが、にぎやか森の誰かに送ったみたいだけど、誰だかわからない。きですか?と書いてあるから「なんの木ですか?」と聞いているから花屋さんに書いたのかも?花屋さんに二人が行ってみると、「これはわたしあてじゃないわ」と。リーちゃんが書いた可愛いハガキが付いている心あたたまる絵本です。



※() 内作者名

鹿の王 水底の橋 (上橋菜穂子) / 傲慢と善良 (辻村深月) / 銭湯図鑑 (塩谷歩波) / フライパンひとつで、麵 (武蔵裕子) / 和テイストのお菓子 (角謙二) / 死にがいを求めて生きているの (朝井リョウ)

「図書室だより」 中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



『本と鍵の季節』
(米澤穂信/集英社)

堀川次郎は高校2年の図書委員。利用者のほとんどいない放課後の図書室で、同じく図書委員の松倉詩門と当番を務めている。背が高く顔も良い松倉は目立つ存在。そんなある日、図書委員を引退した先輩女子が訪ねてきた。亡くなった祖父が遺した開かずの金庫、その鍵の番号を探り当ててほしいというのだが...



『ノースライト』
(横山秀夫/新潮社)

一級建築士の青瀬は、信濃追分へ車を走らせていた。望まれて設計した新築の家。施主の一家も新しい自宅を前に、あんなに喜んでいたので...。Y邸は無人だった。そこに越してきたはずの家族の姿はなく、電話機以外に家具の一つもない。ただ一つ、浅間山を望むように置かれた「アウトの椅子」を除けば。一体何が?

今月は8冊!

認知症の人がパツと笑顔になる言葉かけ (右馬埜瑠子) / 迷路の中には何がある? 「チーズはどこへ消えた」その後の物語 (スペンサー・ジョンソン)

道草便り Vol.14

山形大学の地域連携型サークル「Team道草」
道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介します
「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します

地区の日常in蒲沢
5月10日、今回は山に囲まれた一本道の蒲沢地区の日常に潜入! 全てのお宅を訪問することはできません
でしたが、面白い出会いと発見がありました。自然音の豊かさや人の笑顔が魅力的です。

ぶんばい

金山杉俳句会報 第四二八回

斑雪都会暮らしの娘に幸を
春あらし眠れぬままに去年のこと
星川 きえ子
岸 あき子
へアーピンを前歯で開く春の風
万葉の梅の香誘ふ令和かな

かねやま紅風会

春風に国旗はためく令和かな
赤飯に香り豊かや観桜会
荒屋 阿部 勝子
片栗の花の息つく峡の村
春農を急かす夜明けの機械音
荒屋 関 喜美子
菅越 庄司 けみ子
胡麻和のごこみの節を感じをり
散るさくら羽の国なれば忙しく
七日町 青柳 キエ子
花いかだ土手に転がる一升瓶
行春や来たる令和に思ひ馳せ
七日町 柴田 栖静
華やかに流展迎ふ春の空
美しき国に生まれて桜餅
羽場 坂本 徳太郎
妻逝きてお蔵入りなる台の難
平成のつゝが讚ふか春の月
上 阿部 一步
新緑に白き鳥海浮き立てり
子育ての燕また来る農繁期
七日町 村松 奈風
平成のみ世へ感謝や五月空
改元の国は故郷なり燕くる



祝祭日には



を掲げましょう

いまこそ集落創生

第15回 下野明地区



平成29年5月、「知事のほのぼの訪問」として吉村美栄子県知事が初めて下野明地区公民館に来訪。「明日を語るお茶の会」の皆さんが活動を報告しながら、楽しいひと時を過ごした

町中心部から南へ約4km、国道13号線をわら坊口から明安地域方面へ入ると、最初に現れる下野明地区。地区は下野明・中下の2つの集落から成り、約45世帯、160名程が暮らしています。稲作に適した盆地が広がる当地区。「下野明」は、開墾などで取得した田のことを指す「名田（みょうでん）」に由来する説もあるよう。これは平安中期から中世にかけて呼ばれた名で、もしかすると古い開拓の歴史を持つ地区なのかもしれません。

近年では、平成20年に(株)大商金山牧場が地区内に養豚場を建設。ブランド豚の「米の娘ぶた」を出荷しています。「地区の共有土地を有効活用してもらい、新たな雇用も生まれてありがたいと思う。また、ごみ拾いボランティアや毎年7月のさなぶりなどを通して、地区との交流も図られている」と正野賢一^{けんいち}区長は話します。元気な高齢者が多いことも、下野明地区の特徴です。その理由のひとつが「明日を語るお茶の会」。毎月8日を定例日とし、地区の60歳以上の方が自由に公民館に集まることのできる場を高齢者自らで作っています。軽い体操や食事会のほか、町外へ研修旅行に行くこともあり、皆さんの楽しみのひとつになっています。

「地区としても高齢者の積極的な活動を支援している」と正野区長。明日を語るお茶の会に地区から助成金を交付し、生きがいづくりを応援しています。20名程いる子ども達は、地区全体で育てることがモットー。おじいちゃんを中心に見守り隊を編成し、小学校登校時に活動しています。これからも下野明は、高齢者の皆さんが地区の元気の源をつくっていきます。

金山町の人口は、5,465人（4月末現在）

男性	2,660人 (-7)	4月の異動	出生	2人
女性	2,805人 (-11)		死亡	9人
世帯数	1,760世帯		転入	5人
			転出	16人

編集 幸記

▼今年もやってきた田植えシーズン。5月の後半にかけて続いた好天のおかげで、スムーズに進んだという方も多いかもしれません。この時期は私も家の手伝いを...と思うのですが、ここ数年は取材とパッティング。毎年、来年こそはと思っています。

▼横断歩道などで歩行者が交通事故に巻き込まれるケースが全国で後を絶ちません。悲しい事故を金山町で絶対に起こさないように、安全運転を肝に銘じ、子どもたちは地域全体で見守りましょう(しま)